

COLUMN

鎌倉の猫事情
今までのお話 その二

前回のお話の続きでございます。
長寿を全うし、天に召された私ではございましたが、私の亡き後の行く末が気にかかりまして、生前好んでおりました塀の上やら、戸棚の上などに座り込んで、この家の様子をそっと伺っておりました。主人は私に義理立てして、一年は猫を飼わないと決めておりましたから、次の猫がなかなか来ないのを、この町の下水道のあちこちに住みついている不届きなネズミどもが、この家は猫空き家だと、話し合っているのが聞こえてきまして、気をもんでいたところ、ようやく、見たことも聞いたこともない山の中から拾ってきたという、小さな茶色い毛糸玉みたいな猫を買って来たのでございます。元来猫というものの家猫であれ野良であれ、この世にミャアと生まれ出たからには、手前の四つの足で歩いて行かれる所で一生を終えるものでございます。それに毛糸玉を始めて見た時はまあ、ビックリしました。私達猫というものは、無地かブチかトラと相場が決まっていると信じていたがね、全体が薄茶色で顔と手足の先っぽが黒いという、変てこな模様なんですから、それもこれもご時世というものでございましょう。主人はその毛玉にグーニーと名をつけた。チビの毛玉のグーニーが、私の後継というわけで、ともかくも、せめてネズミの番だけでもできるようにするまでは、草葉の陰から見守っていようと考えた次第でございます。

私は生涯独り者で暮らした猫でございましたが、このチビ猫・いえ、グーニーは、乱暴者で聞かん坊のくせに、独りぼっちになると、ミイミイ鳴いてばかりいる寂しがり屋で、心配した主人が、ある日小さくって白くって可愛いらしいお嫁さんを連れて帰ってきたのでございます。しばらくもじもじしていましたが、幼い子猫達はすぐ仲良しになりました。この小さなお嫁さんは、スイピーと名づけられました。乱暴者でも、グーニーはお嫁さんにだけには優しく、新入りの為に、ご飯やお便所の世話をしてやっていた。子猫の頃は、2匹で朝から夜中まで一日中一緒に遊んでいました。それが正直、うらやましくってねえ。一度だけ私も仲間に入ったのでございます。寝苦しかった夏の夜、あの子達が家中追いかけてっこをして遊んでいた時、私も一緒にじゃれてやったのでございます。あの子達は死にかけたセミが何かに夢中で、全然私に気がつきませんでしたから、ちょっといたずらしてやったのでございます。台所の電気を点けたり消したり、チャカチャカってね。ふふ、誰もいないはずなのにね・・・そのうち気づいたみたいでしたよ。主人もビックリして、チビ猫達と顔を見合わせたりして。ええ、もうしません。あんなことは、一度きりでもう充分なものでございます。

この小さな夫婦がその後、37匹の子猫達を育てたのでございます。

to be continued



Vision

影

冬の午後の帰り道。

私はいつものように、K子と歩いていた。K子は今レッスンを終えたばかりのメロディを口ずさみながら、白く細い指を宙に踊らせる。指はだんだん高く舞い上がり、腕はしなやかに泳いでいる。その指と、しなやかな腕が、午後の陽の光を浴びて道に影絵を描くの私達は眺めていた。

「あら？ 貴女の影、二つあるわ！ ね、不思議じゃない。本当に貴方の影だけ・・・」

K子が指差すほうを見ると、私達2人の長く伸びた影が次の角まで届こうとしている。そして、確かに私の影だけが2つ、ある。1つは、しっかりと、2つ目はぼんやりと・・・

「本当ね」と、私は笑った。でも、心の中では少し嫌な気持ちがあった。私は、とうとうその影に気づいていた。もう、ずっと以前から。そして、それにK子が気づいていないと、いつもほっと胸をなで下ろしていたのだ。「気づかれちゃった・・・ どうしよう・・・」

その影は、私の影であっても、私のものではない。いつごろからか、影が、私の影から抜け出て勝手な行動をとるようになっていたのだ。時々、私より先へ行こうとする。私が左へ曲がろうとしているのに、右へ行ってしまう。結局私は影に引きずられて右へ行ったり、左へ戻ったり・・・

「やめて、嫌よ」「ふん、なにさ、私はこっちに行きたいの」と、たびたび喧嘩になる。どうしても、影が言うことを聞いてくれない時は、帰り道をぐるぐる周ってなかなか家に帰つかないことすらあった。そのたびに家では、「いったいどうしてこんなに遅くなるの？ K子ちゃんは、もうとっくにうちに帰っているそうよ」と叱られる。影は、そんなことはお構いなしにどんどん横暴になっていった。「・・・嫌でも貴女と私は離れ離れになるわけにはいかないのよ。それにね、覚えておいてちょうだい、本当は私の方が先なんだから、なんでもよ。

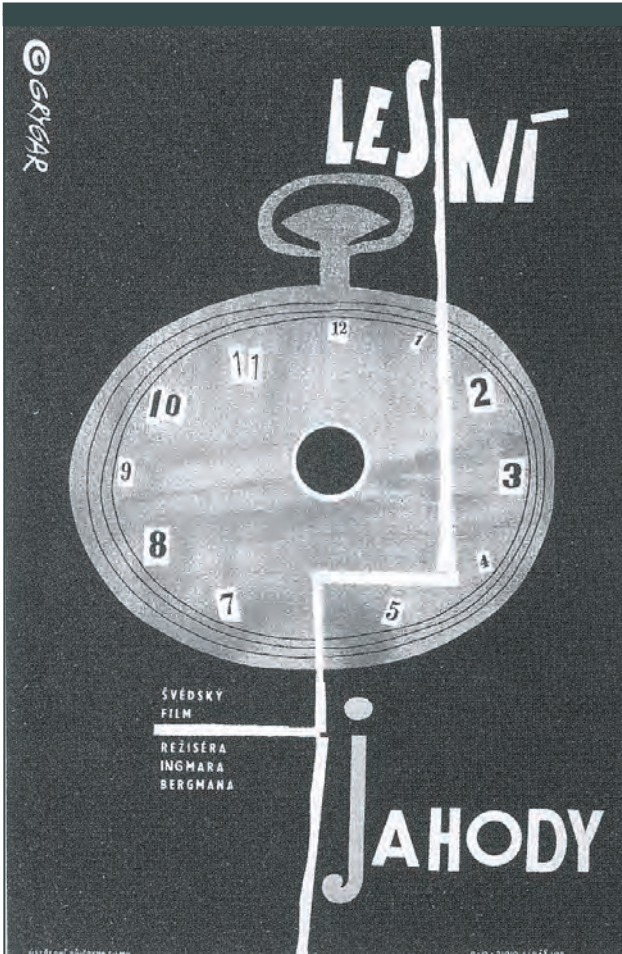
私が貴女の後をついて行かなくちゃいけない理由なんて、どこにもないの。私が貴女の影なら、貴女こそ幻影だわ。私が創りだした幻しんだから！」

ついに、影は、もう決して私の思い通りにはならないと、宣言した。

その日以来、私は陽だまりの中を歩かなくなった。

いつも、陽が昇ることも、落ちることもない道を、一人歩き続けている・・・





HISTORY

KAMAKURA 場所の記憶 21

カトリック雪ノ下教会 その1

古くから寺社仏閣の多い鎌倉は、今ではキリスト教会も大変多く、信者数も人口比率からすると長崎について多いのではないかとさえ言われます。何故そんなに多いのか理由はよくわかりませんが、町を見渡すとそこかしこ、街なかや、山あいにも美しい十字架を掲げた塔を見ることができます。

鶴岡八幡宮の参道の東側に、いかにも鎌倉らしい重厚な趣のカトリック雪ノ下教会が建っています。この教会は第二次大戦後の1948年カナダより横浜港へ到着した、3人の神父、レズンブール会レベック、ドモンティニ、カンパニア神父の布教活動により、同年6月20日、小町の一角の敷地に教会を創立したのが始まりだそうです。1949年に誕生したミルクホールのマスターの姉は、この教会の洗礼を受けた4人目の赤ちゃんだったとか。姉が亡くなった後に知りました。その時の教会の写真をみると、木造平屋建てでなんととも言えずほのぼのとした趣であります。その翌年に誕生したマスターは何故か洗礼を受け損なったようで、おかげで今でも信心と縁のない顔をしています。ともかくも、そのほのぼのとした教会が、黄金色の聖母像のモザイクを掲げた重厚な教会に生まれ変わる、十年前のことでした。

LIVE ハーフムーンのライブで、
BAR TIMEを
お楽しみください

by HALF MOON

2/16 Sat. pm 7:30

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

琢磨 仁
(Jin Takuma)
琢磨 啓子
(Keiko Takuma)



衣装箆笥

衣装箆笥は、3尺(約90cm)ものが定番です。着物を仕舞う寸法で、京都風のもの、薄い絹物の為に作りが華奢で桐に漆を塗り上げたものが主流です。仙台箆笥に代表されるように、雪深い地方では冬の綿入れの着物を仕舞うために、金具もしっかりとして引き出しが深くがっしりした作りが特徴です。

明治時代衣装箆笥 抽斗二段 ¥34000
W85 D42 H49

大正時代桐箆笥 抽斗四段+2 ¥32000
W85 D40 H92

水屋箆笥

水屋箆笥も衣装箆笥同様生活の必需品で、江戸の頃からどの家でも使っていました。地方によって伝統的な様々な特徴を残しています。大正時代になると、建具にガラスを入れたり、洒落た西洋風の飾りを彫刻したものが作られました。

大正時代近江水屋箆笥 ¥95000
W165 D47 H163

大正時代ガラス水屋箆笥 ¥89000
W170 D45 H174



Milk Hall News

ミルクホールタイムス/ミルクホールタイムス 定期購読募集
総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」
No.001 ~ No.100

ミルクホールにて販売中 一部 ¥1800

ミルクホールタイムス創刊号から100号までを編集した、ミルクホールタイムス総集編です。「鎌倉の猫事情」第一話から前編最後まで、ミルクホール30年が楽しめる本になっています。



ミルクホールタイムスは、毎月25日に発行しております。定期購読お申し込みの方には、毎月25日郵送いたします。詳しくはミルクホールまで

年間購読料 ¥1500

〒248-0006 鎌倉市小町2-3-8

PHONE 0467-22-1179

FAX 0467-24-9537

e-mail/ info@milkhall.co.jp

Furniture

ミルクホールの 和洋家具

ミルクホールのアンティーク家具は明治から昭和初期にかけて日本で作られた和洋家具です。日本の古来の丁寧な作り、西洋風の新時代の活力が加わった時代の家具です。古く、痛んだ部分や塗装はミルクホールのスタッフが修復しています。



Information

2月の催事 火曜日は着物の日

着物・帯 10~20% off

ミルクホールでアンティークの着物を扱うようになって2年ほどになります。

日本の優れた衣装文化に触れて、その合理性、自由奔放さ、高度な織りや染めの技術がいつも新鮮に感じられます。着物に普段から親しむ目的で、毎週火曜日を「着物の日」とします。

着物の日は、勉強中のスタッフも着物で接客致します。作り帯の使い方や、帯締め、半衿、帯揚げの組み合わせなどお気軽に、ご相談下さい。

着物、帯、小物など、10%から20%お値引き致します。是非お出掛け下さい。

1月 29日

2月 5日・12日・19日・27日

WANTED

アルバイト募集

ミルクホールで働く方を募集しています。

HALL 土日祝含む 週3日ほど

ウエイター・ウエイトレス・バーテンダー

アルバイト希望の方は、ミルクホールにご連絡の上、簡単な履歴書をご持参下さい。

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

ANTIQUE

蚤の市

懐かしい時代の香り
日本の木の手触りを大切にしたい
ミルクホールの蚤の市



次回は 3/20 Thu. 23 Sun.

ミルクホールのアンティークは
明治・大正時代の日本で創られたものを中心に
大正ロマンの香り漂う暮らしの中で親しまれた品々を
買いやすい価格で揃えています
伊万里やガラス器、大正時代の着物など
意外な掘り出し物も・・・

♠ 和洋家具

- 明治・大正時代の和洋家具
大正時代両面鏡額縁付き
明治時代衣装箆筒 抽斗2段
大正時代ガラス水屋2段
明治時代帳場箆筒
明治・大正時代小箆筒各種
昭和初期デスク色々
明治～昭和文机各種
大正時代衣装箆筒各種

◆ アンティーク

- 病院用スタンドライト
明治・大正のレースガラス各種
アンティークシェード各種
レプリカシェード ¥5800より

つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし

✂ くるみボタンと
かんざし

昔の着物をほどいて作りました。
くるみボタン ¥100より
くるみボタンコーム
手作りかんざし ¥1800より

トロボ玉の
かんざし ¥2800より

✂ 帯・つくり帯

ミルクホール新作帯

大正・昭和初期の華やかな着物を解いて帯に仕立てました。ミルクホールのオリジナルです。
半幅帯・名古屋作り帯の2種類です。

名古屋作り帯
半幅帯 ¥6800より

♣ 古陶磁

伊万里・古伊万里・明治ペル藍・
大正色絵等々買いやすい価格で入荷

- 江戸中期古唐津水盤
明治銅版小皿 文明開化絵皿
伊万里輪茶碗・そば猪口各種
古伊万里豆皿・なます 平戸猪口
明治瀬戸石皿・鉢 明治銅版火鉢
高麗青磁色々 明古染 杯
初期伊万里陶片 古瓦各種

♣ 古民芸・骨董

明治・大正漆器

- 道教の壁画 女人像
大正時代ランプ
明治染付タイル
李朝盆・根来碗
灯籠台天燈器
浮世絵硝子絵
アフガン石仏

和の小もの

ミルクホールオリジナル 和の小もの
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地をほどいて
ちり緬や銘仙など素材に使った和の小ものです

✂ 半衿・帯揚げ

昔の着物をほどいて半衿に仕立てました。着物のおしゃれのポイントは半衿です。使いやすいのは絞りの半衿、大正風にアレンジするなら鮮やかな柄物の銘仙など、個性的なコーディネートが楽しめます。

半衿・帯揚げ各種 ¥800より



櫛のかんざし

¥3900より

36
うろこ
帯などによくあるが、蛇の
うろこを形どったもので、
粹な半てんなどにも使って
いる。

✂ 古布

絞り・小紋・銘仙・大島など、古い着物をほどいて作っています。値段の目安は
1メートルで1000円ほどです。

着物・アンティーク古着

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの銘仙
やお召しの着物など入荷しています

- 久留米緋 ¥7800より 銘仙着物 ¥6500より
お召し ¥6800より 小紋 ¥3800より



富士山
の
まるい
か
の
こ
の
こ
の
こ

撫の
海
か
の
こ
の
こ
の
こ